

觀世流改訂儒本

內二十

於野
教生石
野官
錦文
席和



明治四十三年四月三十日印刷
明治四十三年五月五日發行

訂正者、檢印
十キ毛、ハ偽版也

東京市麹町區中六番町二十九番地

訂正兼
發行者

丸

岡

桂

東京市下谷區二長町壹番地

印刷者

塚原錦三郎

東京市下谷區二長町壹番地

印刷所

凸版印刷株式會社

東京市麹町區中六番町廿九番地

發行所

觀世流改訂本刊行會

電話番町二五四四番



畧脇能

シテ弟
ツヨク

於^{カン}郷^{ダン}

ワ子シ
ワキ方テ
狂言
夢中ノ舞
夢中ノ大
夢中ノ宿
夢中ノ主
夢中ノ使
夢中ノ人

字^シの^ノ旅^リは^ハ来^キて^テい^イま^マす^スて^テ。夢^{ユメ}路^ロと

いと定^{サダメ}めん^ン。これ^{コレ}蜀^{シヨク}の^ノ国^{クニ}に^ニた

えら^{エラ}ゝ廬^ロ生^{セイ}と^トい^イふ^フ者^{モノ}あ^アり^リわ^ワれ^レ人^{ヒト}

向^{ムカ}は^ハあ^アり^リあ^アる^ル佛^{ブツ}者^{モノ}と^トい^イふ^フ領^{ネイ}を^ヲも^モた^タる^ル

花^{ハナ}と^ト明^{アカ}の^ノ身^ミら^ラま^マは^ハう^ウあ^アる^ル真^{マコト}や^ヤ

夢^{ユメ}國^{クニ}の^ノ華^{ハナ}飛^{トビ}は^ハ貴^キま^マに^ニ宿^{シュク}儀^ギの^ノま^マ

まま由承りてびくさば。おののけさ
 とも尋ねたやと思ひ。作今羊我より
 と急ぎぬ。全^{なり}に。國と雲降れ
 あら見えて。と。又山を越え行けども
 こゝもあも。旅衣野暮れ。山暮れ里
 暮れ。名もの又聞さ。村野の里も
 早く。急ぎぬ。わたり。

程よ。これこそや。邯鄲の里よ。着きて
 いまだ日^{イマ}に^{タカ}さるる。汝^ニ呼^フよ。旅^リ宿^{シュク}
 せよ。まほしき。いづ^{ニテ}は。案^{ニテ}内^{ニテ}申^{ニテ}の
 け^{ニテ}に^{ニテ}旅^リ人^{ニテ}を^{ニテ}い^{ニテ}。一^{ニテ}夜^{ニテ}の^{ニテ}宿^{ニテ}を^{ニテ}は^{ニテ}貸^{ニテ}う
 へ^{ニテ}。これ^{ニテ}は^{ニテ}蜀^{ニテ}の^{ニテ}國^{ニテ}に^{ニテ}お^{ニテ}た^{ニテ}を^{ニテ}ら^{ニテ}よ。
 廬^{ニテ}を^{ニテ}と^{ニテ}る^{ニテ}も^{ニテ}あ^{ニテ}る^{ニテ}。あ^{ニテ}れ^{ニテ}人^{ニテ}向^{ニテ}は
 あ^{ニテ}る^{ニテ}。あ^{ニテ}る^{ニテ}。佛^{ニテ}有^{ニテ}る^{ニテ}。も^{ニテ}を^{ニテ}を^{ニテ}を^{ニテ}。た^{ニテ}を^{ニテ}

然と云ふ暮らさるる國の
平飛ぶ。尊き智識の
由承り及びてゐる。一
も尋ねるゝと聞か
其枕より一
立ち越え一
さへなりなる國
シテ

那の枕あるを。これ身を知ら
 門カド

出^{イデ}せ[。]の^{ココロ}試[。]は[。]夢[。]の^{ツゲ}告[。]天^{テン}に[。]要^{アト}ある

予あぐー 上 一 村 雨 の 雨 宿 り

日^ニハ^ニマ^ニダ^ニ残^ル中^ニ宿^ムハ^ニ假^ニ寝^ニの^ニ夢^ニを^ス

父^フ子^コや^ヤと^ト於^ニ單^ニの^ノ枕^マよ^ヨあ^アは^ハけ^ケり^リ

いゝ。康生ロセイの中まじりけの
子シテも

いゝある者ぞ
 早 林^ツ國^{コク}の帝^{ミカド}は位^{オンシ}位^{イイ}

廣^ロ瀬^{セイ}の儀^{ユヅ}の申^{マウ}込^コの勅^チ使^シと
 れあてまつたう 田^{シテ}の^{シテ}はらまは
 王^{ヲオサ}位^サはそも何^{ナニ}な^{エエ}そあはひぐか
 是^ゼの^シとぞいそまゐるぐか。昔^{コト}代^ヨ
 と持ちぬぐか。其^ズの^イ儀^キ同^{ドウ}くか。あ
 まらぬ。あましく廣^{コシ}はあはひと
 らそめい^{サニ}とら^ラの露^ロのま^スあへては

車^{コシ}も習^{ナラ}をぬぎの行く^ユわ^{早カ}
る^ミも^ミ思^ミをき^ミて^ミ天^ミも^ミあ^ミ
る^ミ心^ミち^ミて^ミ玉^ミの^ミ中^ミに^ミ法^ミ
の^ミ道^ミを^ミ業^ミ華^ミは^ミ花^ミも^ミ一^ミ時^ミの^ミ夢^ミ
白^ミ雲^ミの^ミ上^ミ人^ミと^ミあ^ミる^ミぞ^ミあ^ミる^ミ
あ^ミる^ミの^ミ氣^ミを^ミあ^ミる^ミお^ミも^ミう^ミさ^ミ
ま^ミ雲^ミの^ミ上^ミ人^ミも^ミあ^ミる^ミあ^ミる^ミあ^ミる^ミあ^ミる^ミ

閑や所^カ房^ボ放^テ走^ハも満^ミちてげも
めある有^タ様^{サマ}の庭^ニみそ金^{キン}民^{ミン}の砂^{スナ}を
敷^シき西^セ方^{ホウ}の門^{カド}の玉^{タマ}れた^レは^ハ出^デて入^イ
るまでも走^ハやもさるよそ海^{ウミ}の真^{マコト}
や名^ナを聞^キき寂^{シバ}の都^{ミヤコ}森^{モリ}見^ミの
中^{ナカ}に^ニも^モちやと思^{オモ}ひぞわ^ワけ氣^キ色^{シキ}うま
下^{シタ}へ^ヘ賃^セ万^{マン}賃^セの出^デ宿^{シュク}の敷^シき車^{クルマ}とわ^ワて掛^カけ

わまた万戸の旗のあまは色めき

地よひく雷の勢もあびつく

東は三十餘丈は金のおと築る

て。おねの目輪を出たさしたり

西は三十餘丈は黄金のおと築る

さ。金れ月輪や出たさたりと

べ。れ長生殿の内は春や富め

たり。不老の前の元陽の心
をまなざれ。なり。い。う。ま。同。申。ま。べ
き。り。の。位。は。即。き。は。ひ。て。い。早。や。五
十。年。あ。り。然。ら。も。は。仙。薬。や。あ。い。め。さ
む。少。年。一。百。歳。ま。で。保。ち。た。り。べ。う。や。う
程。よ。夫。の。濃。精。や。元。陽。の。血。と。い。ま。で
持。ち。て。ま。り。た。う。そ。も。夫。の。濃。精。と

大臣

これ仙家の酒の名あり 沈澁

の盃と申さるゝ 因ぐ仙家は盃を

り 寿令を代そと菊の酒 紫

華の春もよろづに 君も豊は

民栄え 國土安ん長之のウ 紫

華もいままは 猶喜ひいままさう草

の菊の盃とりぐは いざや飲まふよ

下

下

●仕舞

めぐりやゑの^{ナガ}流れ^{キク}氷の^リ影^イよ
い^スて^トそ^サど^テれ^ルも^ハ年^シま^ハつ^クさ^ニ
ぎ^ルる^ハ菊^ハ衣^ハの^ハ花^ハに^ハ袂^ハと^ハひ^ハろ^ハが^ハへ^ハて^ハ
持^ハも^ハも^ハ引^ハく^ハも^ハ光^ハあ^ハれ^ハや^ハゑ^ハの^ハ影^ハの^ハ
め^ハぐ^ハる^ハ室^ハを^ハぐ^ハる^ハも^ハき^ハや^ハわ^ハが^ハ宿^ハの^ハわ^ハ
る^ハ宿^ハの^ハ菊^ハの^ハ白^ハ露^ハは^ハ毎^ハに^ハ等^ハ々^ハ積^ハ
り^ハて^ハ涙^ハと^ハあ^ハら^ハん^ハ。ば^ハも^ハ盡^ハき^ハづ^ハな^ハ

も盡きぐ葉のあも泉あれど汲
 のも汲めどもよまよはづる菊
 水と飲めども甘露もあくらんと心
 も晴れやう。花びきつどもあり有羽の
 使書とあもたのみの栄華よも
 栄耀よもげはれやあるべき。あま
 ても。栄華の春も常盤よりて
 地上
 天上
 天上

